

こたえ ライオンとねずみ

基礎②

ライオンとねずみ

(イソップのお話)

ライオンがねむっている、小さなねずみが体の上をかけまわりました。

目をさましたライオンは、ねずみをつかまえました。「どうか、にがしてください。いつか、きっとおれいをします。」

ライオンはわらって、ねずみをにがしてやりました。何日かたって、ライオンはかりゅうどのあみにかかってしまいました。いくらもがいても、あみはやぶれません。そこへ、あのねずみがやってきました。ねずみは小さな歯^はで、あみをかじってやぶり、ライオンをたすけました。

1 ねむっているライオンの上をかけまわったのは、だれですか。

ア うさぎ
イ ねずみ
ウ りす

2 ライオンは、何にかかってしまいましたか。

かりゅうどの
あみ

3 ねずみは、どうやってあみをやぶりましたか。

あみを
か
じ
っ
て
やぶった。

4 ねずみがライオンをたすけたのは、どうしてでしょう。

ア ライオンが、まえににがしてくれたから。
イ ライオンに、たのまれたから。
ウ あみが、おいしそうだったから。